

## 人間文化学部のカリキュラム・ポリシー

人間文化学部では、4年間の体系的な教育課程を編成するため、科目の大きな区分として[学部共通基礎科目][学科基礎科目][専門基幹科目][専門発展科目]の4つの科目区分を設け、以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定める。

- [学部共通基礎科目]には、[教養科目][体育][外国語]の科目群を設ける。[教養科目]では、人間と文化、社会、自然のそれぞれの関わりについて基礎的な知識を身に付ける。[体育]では健康に対する理解を深め、体力増進を図る。[外国語]では、英語に次ぐ第2外国語を修得する。
  
- [学科基礎科目][専門基幹科目][専門発展科目]には、保育教育学科、地域文化学科の両学科の教育課程に応じた科目群をそれぞれ設け、人間と文化に関する広い視野と高い専門性を育成する。

## 地域文化学科のカリキュラム・ポリシー

- 1 科目区分[学科基礎科目]を設け、初年次教育及びキャリア形成・支援を行う[ライフデザイン]科目群、基礎的英語力を養成する[言語リテラシー]科目群、数理リテラシー、情報処理能力を養成する[数理・情報リテラシー]科目群を配置する。
- 2 本学科は、日本及び海外諸地域の文化について探究し、文化を多面的に捉えることができる広い視野を身に付けること、異なる地域や異なる時代の様々な人間の生き方や文化を尊重する寛容と共生の精神を養うことを目指している。そのために、「日本文化コース」及び「国際文化コース」の[専門基幹科目]として、日本や海外諸地域の文化や文学、歴史について幅広く学修する科目を配置する。
- 3 [専門基幹科目]の学びを基盤として地域文化を発展的に理解するため、[専門発展科目]に[地域と文化][地域と教育][地域と観光]の科目群を置く。[地域と文化]では、地域の多様な文化を学ぶための科目を配置する。[地域と教育]では、島根の各地域をフィールドとし、教育を中心とした地域理解や地域課題解決を探究していくための科目を配置する。[地域と観光]では、「観光まちづくり」の観点から文化の学びを地域に活かしていくための方法を修得する科目を配置する。
- 4 豊かで的確な表現力と円滑なコミュニケーション力を育成するため、1年次の「スタートアップセミナーI・II」から4年次の卒業研究「地域文化プロジェクトII」に至るまで、少人数ゼミでの口頭発表やレポート作成を行う。外国語については、[学科基礎科目]の[言語リテラシー]や[専門基幹科目]の[英語とコミュニケーション]において英語を幅広く学び、実践的な英語力を身に付けながら、TOEIC や観光英語検定などの資格支援も同時に行う。[学部共通基礎科目]には、グローバル社会において重要な第2外国語を配置し、選択必修としている。
- 5 以上の教育課程を統合し、3年次の「地域文化プロジェクトI」、4年次の「地域文化プロジェクトII」において、学びの集大成を図る。